

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2017年6月14日発行NO. 583

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

テロ対策でもなんでもない 環境・人権団体も処罰される

民主主義が危ない 今 声あげよう 共謀罪！

国連が 弁護士が 若者が パパ・ママも 反対の声

昔の悪法 治安維持法とそっくり共謀罪？

- 1925年 普通選挙法成立 (男性のみ—それまでは納税額で制限)
- 治安維持法成立 (共産主義者の取り締まり目的 懲役・禁固)
- ※その後、改悪で自由主義者 労働組合 宗教団体、政府批判はすべて弾圧の対象となる。
- 1938年 天皇機関説事件 美濃部達吉議員辞職
- 1940年 斎藤隆夫「反軍演説」 戦争政策批判 議員除名処分
- 生活綴方(作文教育) 関係教員約300名検挙

[治安維持法下]

逮捕者 数十万人 送検 75681人
 虐殺 90人 拷問・虐待等獄死1600人余
 実刑 5162人 ※作家小林多喜二の虐殺は有名

森友学園問題に続いて、加計学園獣医学部新設問題で、答ええない、調べない、自分に関係ないという安倍政権の態度・姿勢に国民の批判の声が高まってきています。

当初、国会の会期を大幅に延長して共謀罪の成立を図ろうと考えていた安倍政権ですが、加計学園問題の追究を避けるため今週末で国会を閉会し、共謀罪の強行をはかろうとしています。

一般人も対象と明言！

安倍政権は東京オリンピックのため、テロ対策のためと言ってきたテロ等準備罪＝共謀罪。当初、「テロリズム集団・暴力団・薬物密売組織の団体に限られる」(5月8日)と答弁していましたが、この間、環境保護団体や人権団体も対象となることが明らかになりました。先週末には、一般人も対象となりうることを答弁。

政府に批判的な声や運動を取り締まる大変危険な法案であることがはっきりしてきました。

世界からも批判・懸念の声

国連人権理事会ケナタツチ特別報告者が共謀罪を「表現の自由を制約する」と採決を急ぐ日本政府の姿勢を厳しく批判。

また、世界2万6千人の作家が加盟する国際ペン・クレメント会長も「共謀罪は日本の表現の自由とプライバシーの権限を侵害する」と声明。

国民の一人ひとりの声 が政治を動かす



沖縄では、知事を先頭に
した基地反対の動きに機
動隊・警察権力を使って
実力で基地建設を進めよ
うとしています。

共謀罪は、生活・くらしを守りたいという国民の願いも国(国家)の政策に反対すれば、逮捕される危険性をもつ法律です。わたしたちは、こんな法成立を望んでいません。

一人ひとりの声が大きく集まり、政治を動かします。

「最後まであきらめない」
今、重要になっていきます。

中3年 6月21日実施

チャレンジテストは廃止を!

大阪府下の公立中学3年生を対象とする府独自の学力テスト(チャレンジテスト)が21日に実施されます。

昨年に続いて2回目。国語、社会、数学、理科、英語の5教科。

橋下・松井知事や議会で多数を占める維新の政治のもと、府教育委員会は引き続き、チャレンジテストの結果を公立高校入試の内申点に反省させる方針です。テスト科目以外の音楽・美術・保健体育・技術家庭の各教科の内申点にも影響します。

問題多発するテスト

こんなテストを実施しているのは大阪府だけです。

今年1月実施の中学1・2年生のチャレンジテストでは、その点数が低い場合、1・2学期に学校がつけた内申点が下げられる可能性があるとして、府内いくつかの中学校で

多くの生徒がテスト当日、「欠席」する事態になりました。

元々内申点は定期テストだけではなく、授業の様子や提出物、レポート等、子どもの日常的な学習状況を総合的に評価して、学校が自主的につけるものです。

「1回のテストで内申点が変わえられる」と保護者や子どもが不安に感じるのは当然です。

学力テストは行政調査

チャレンジテストの実施主体は学校ではなく教育委員会です。教育委員会は行政調査としての性格を持つため、その結果を子どもの成績評価に用いることはできません。

(1976年最高裁判決) 憲法が保障する教育の自由を侵害し、教育行政による教育への「不当な支配」になるからです。文科省も全国学力テス

トの実施要領で「調査結果を直接又は間接に入学者選抜に関して用いることはできない」と明記しています。

教育ゆがめるテスト

教育条件の整備を!

チャレンジテスト結果の内申点への反映は、学校教育をゆがめ、子どもの成長を妨げます。

元校長や元教頭さん61氏が今年1月にアピールを出しました。「チャレンジテストは今後の大阪の子どもばかりか学校のあり方や地域社会をもこわしかねない重大な問題をもつもの」と指摘しています。

全教豊中は3月31日にチャレンジの問題点を市民と一緒に学習を行いました。

学校生活をテスト漬けにし、教育を歪める「チャレンジテスト」を廃止し、すべての子どもの学力を保障するために35人学級を広げる等教育条件のよくすることを強く求めていくことが重要です。

「21世紀にふさわしい教育を」 「部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q 15

部落問題を教えないとすれば、どうしたらよいのでしょうか。

A 15

子どもたちの暮らしに根ざし社会や人間についての認識を豊かに。

私たちに今何がこそ求められているのでしょうか。

一つ目は子ども観が問われています。今日の子どものどうとらえるのか、どうしたら、子どもの本姿が見えてくるのか。二つ目は、子どもたちの人間関係をどう作っていくのか、そして学級という集団をどう創造していくのか。三つ目は、人間形成と学力の鍵を握っている言葉の力と自己表現力をどう豊かにしていくのか。四つ目は、親を「モンスター」などと敵対視せず、共同でどう子育てをすすめていくのか。

そうですね、まさしく作文教育の出番なのです。(中略)現象面では攻撃的で不安定な姿を見せる子どもたちの中に、まっとうに育ちたい、大事にされたい、

かしくなりたい、友だちと仲良くしたいという人間的な願いをきちんと読み取るということなのです。(土佐いく子)「ぼくも書きたいことあるねん」どっこい生きてるなにわの子」なにわ作文の会本の泉社2010年(序文)

子どもたちの暮らしに根ざしながら、
①社会科で社会のしくみや歴史の発展を学ぶ、
②文学を通じて人間を考えていく、
③作文を通じて子どもの生きる力を励ましあい共感を育てる、
④自主的な活動をおおいに励まして要求や願いを実現していく取り組みをすすみましょう。

差別や偏見に出会っても正しく対処できます。ある青年教師は次のようにまとめました。明言です。「要するに『憲法と自治の力』を子どもたちのものにするということですね」

おわり